

関根浜及びその周辺地域漁業振興調査 サケ稚魚海中飼育試験

(要 約)

小倉大二郎・横山 勝幸・工藤 敏博・金田一拓志
 福田 慎作・横谷 要一^{*}・長津 秀二^{**}

この調査は、県が日本原子力船研究開発事業団から委託されて実施したもので、当センター魚類部が担当したサケ稚魚海中飼育試験の概要について述べる。なお、詳細は「昭和57年度関根浜及びその周辺地域漁業振興調査結果報告書、青森県、昭和58年3月」を参照されたい。

試験の目的

関根浜及びその周辺地域へのサケ回帰資源の増大を図るため、海中飼育技術の導入による親魚回帰率向上の実証試験を行い、今後の外海域での海中飼育事業の資料とする。

試験の全体計画

試験場所	対象漁協	対象河川	飼育尾数 (千尾)	試験項目	実施年度		
					57	58	59
大畑漁港内 (孫次郎間)	大畑町漁協	大畑川	58年度 3,000	標識作業	○	○	
			59年度 3,000	飼育・放流		○	○
野牛漁港内	野牛漁協	野牛川	58年度 1,000	標識作業	○	○	
			59年度 2,000	飼育・放流		○	○

57年度の状況

海中飼育施設として、フロート式網生簀(20m×20m×深さ1.2m)を4ヶ統(大畑3、野牛1)準備した。

稚魚の標識は、大畑地先分10万尾(脂鰭+左腹鰭切断)、野牛地先分10万尾(脂鰭+右腹鰭切断)の合計20万尾を大畑川ふ化場(大畑町漁協)で実施した。

＊大畑地方水産業改良普及所 ＊＊むつ地方水産業改良普及所